

小学校第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成〇年〇月〇日 〇校時  
授業者 〇〇〇〇

1 単元名 筆者の考えの進め方を捉え、自分の考えを発表しよう「生き物は円柱形」

2 本時の指導（5/8時）

(1) 目標

○生き物が円柱形であることよさを筆者がどのように伝えているかを話し合うことを通して、筆者の考えの進め方の工夫に気付くことができる。(C 読むこと ウ)

(2) 授業構想

前時では、筆者が、読者の疑問を解決するために例外を出して説明していることを学んだ。全員が、例外を出すことで分かりやすくなることを理解し、文章にまとめることができた。

本時では、生き物が楕円形であることよさを伝えるための工夫について、「強さ」「速さ」に注目させ、考えをもてるようにしたい。その後、小グループと全体へ広げながら、筆者の工夫の理解につなげたいと考える。

(3) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の表れ	・ 指導上の留意点	工夫
<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例を挙げた後、読者の疑問を解決するために例外を説明した。</li> </ul> <p>2 ⑥段落を音読し、中後半の内容の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんないいことがあるのだろうと問い掛けている。</li> <li>強い形と速い形なのが、いいところだと思う。</li> <li>そういう円柱形のよさを、どのように伝えているのかな。</li> </ul> <p>3 学習課題をつかむ。(個→班→全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>筆者の考えの進め方の工夫を見付けよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>強い形を説明するために、実験をしている。</li> <li>例外と思われるものの中にある円柱形の例を挙げて、強い形を説明している。</li> <li>強い形と速い形を、⑩段落でまとめていて分かりやすい。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者は、円柱形のよさについて例を挙げて書くことで、生き物が円柱形である理由を分かりやすくしている。</li> <li>実験をすることで円柱形が強いことを分かりやすくしている。</li> <li>中前半で円柱形の例を挙げて、次に中後半で円柱形のよさを言っている。いきなりよさを言うよりも、納得できる。順番がよいと思った。</li> <li>「どんないいことがあるのだろう」「～してみよう」と、読者に問い掛けている。これにより読者も引き付けられるよさがある。</li> <li>自分の考えを発表するときにも筆者の工夫を使ってみよう。</li> </ul> </div> <p>5 次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習内容をまとめた資料を提示する。</li> <li>考えの進め方の工夫をどのように書くかよいかをつかむために、前時のワークシートのまとめを紹介する。</li> <li>課題を明確にし、思考の対象を絞るために、円柱形のよさは「強さ」「速さ」と説明しているということを押さえる。</li> <li>児童が自信をもって発表できるようにするために、小グループでの話し合いの場を設ける。</li> <li>中の文章構成が理解できるように、「問い」と「答え」について拡大文に書き込みをする。</li> <li>文末表現に目を向けることができるように、切り返しをする。</li> <li>読み取りの苦手な児童には、自分の考えが書けるように板書の言葉に着目するよう促す。</li> </ul>	<p>① 視覚化 ←ここをクリック</p> <p>② 共有化 ←ここをクリック</p> <p>③ 視覚化 ←ここをクリック</p>

3 評価

- 筆者の考えの進め方の工夫に気付くことができたか。

	写 真	説 明
①		<p>【視覚化】</p> <p>前時までの学習内容をまとめた資料を提示することで振り返りました。また、筆者の考えの進み方の工夫について、児童が前時に書いたまとめの文章を紹介しました。</p> <p>そうすることで、どの児童も前時の学習のポイントを思い出すことができ、本時の学習課題へと思考をつなげることができました。</p>
②		<p>【共有化】</p> <p>ワークシートに書き込んだ自分の考えを基に班で話し合いをしました。少人数で話し合うことで、全員が自分の考えを表現することができました。前時の学習を生かして、文章の構成について考えを深めた班もありました。</p> <p>また、個→班→全体と共有化を図る際、それぞれ机の向きを変えることで場作りを行いました。それにより、児童が学習活動を理解し、集中して取り組むことができ、意見交換も活発にできました。</p>
③		<p>【視覚化】</p> <p>本文を拡大し黒板に提示しました。話し合いの際、どの文や語句について話し合われているのかわからなくなりがちな児童にも、注目すべき文や語句を示したり話し合いの軌跡を残したりすることができ、全員が話し合いに参加できました。</p> <p>また、「問い」と「答え」が書かれている場所を拡大文に書き込むことで、文章全体の構成を視覚的に捉えられるようにしました。</p>

指導案に戻る

指導案に戻る

指導案に戻る